

## 令和5年度 教育委員会表彰式 式辞

(日時) 令和6年1月4日 (木) 午前10時30分

(場所) ときわ会館 5階 大ホール

令和5年度 さいたま市教育委員会表彰式にあたり、教育委員会を代表して式辞を申し上げます。

まずは、教育功労賞を受賞された皆様、本日は誠におめでとうござい  
ます。

皆様は、人格・識見共に高く、情熱と使命感をもち、長きにわたり特色ある学校づくりを推進し、校長会等の教育団体の長として活力ある教育活動をけん引するなど、さいたま市における教育行政及び学校教育の振興に尽力され、極めて顕著な功績を残されました。ここに、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、皆様が奉職に就かれた昭和60年頃は、社会の構造が変化し国際化・情報化が進む中、知識詰め込み型教育の弊害等が問題視された時代でありました。平成元年に改訂された学習指導要領では、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指し、思考力・判断力・表現力などを重視した「新しい学力観」が示されました。小学校では「生活科」が新設されるなど、その後、いわゆる「ゆとり教育」へと大きく舵が切られる時期でした。また、行政に目を移せば、平成13年の3市合併による「さいたま市の誕生」など、まさに激動の時代を、皆様は若手や中堅の職員として、最前線で業務にあたり、乗り越えてこら

れました。昨今では、最多を更新し続ける児童生徒の不登校者や教職員の不祥事、働き方改革等が社会問題となり、様々な場面で難しい判断・対応が求められてきました。世界が直面した新型コロナウイルス感染症拡大という危機的な事態においても、本市では、皆様を含めた全職員の努力により、子どもたちの学びを止めることなく、オンライン授業等を加速させてきました。

このように教育を取り巻く環境が大きく変化する中でも、管理職等の責任ある立場から、子どもたちの安全で安心な学校生活を守るため、日々大変な御努力と御苦勞を重ね、高い識見に基づく卓越した指導力を発揮し、他の模範となる教育行政や学校経営を実践してこられました。

本日、教育功勞賞を受賞された皆様された皆様におかれましては、その豊富な経験と実績を生かし、本市の目指す教育の推進・具現化のため、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。

次に、優秀教職員表彰の皆様、本日は誠にありがとうございます。

この制度の目的は、教職員及び教職員組織としての資質に優れ、模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている教職員及び教職員組織を表彰し、広く周知するとともに、本市の教職員の意欲や資質能力の向上、指導方法の工夫改善に資することにあります。

本日、さいたま市の優秀教職員として表彰された7名の皆様は、学習指導、特別活動、部活動、学校保健、学校給食、生徒指導等、様々な分野において優れた教育活動を実践されました。また、優秀教職員組織として表彰された大砂土中学校は、「自ら学び続ける生徒の育成」をテーマ

に掲げ、「大砂土中アクティブラーニングモデル」を各教科領域で設定し、授業研究を行いました。さらに、「いじめ防止授業」を全学級で実施するとともに、「ルール見直しプロジェクト」では、生徒主体での校則見直し、教職員が一丸となって生徒指導の研究をすすめました。これら学校を上げて教員と生徒で取り組んだ教育活動の成果は、生徒の自己肯定感の高まりに顕著に表れ、校訓である「澆<sup>はつらつ</sup>と」活動する生徒の姿が校内に溢れています。

これまでの皆様の大きいなる御努力に、改めて敬意を表します。

今後は、さいたま市の優秀教職員として、授業公開や各種の研修会等を通して優れた教育実践を広く公開し、さいたま市全体の教育水準の更なる向上のため、引き続き御尽力、御活躍されることを期待しております。

最後に、教育委員会職員表彰の皆様、本日は誠におめでとうございます。

本市では、他の職員の模範となる職員に対し職員表彰を行っています。先程行われました市の表彰式においても、教育委員会が推薦した学校施設整備課の中島さんが市長から表彰を受けたところです。他にも、教育委員会にはたくさんの素晴らしい職員がおり、ぜひそうした職員を教育委員会として表彰しようとしたのが「教育委員会職員表彰」です。

本日表彰された皆様は、いずれも、自己研鑽に励み努力を惜しまない姿勢や他者とのコミュニケーションを積極的に図ることでチームワークを高めるなど、日々の仕事に真摯に取り組み、その責任感、行動力が他

の職員の模範となり、上司や同僚から高く評価されたものです。

評価をしてくれた人への感謝、寄せられた期待を忘れることなく、今後も、自らの仕事に誇りを持ち、更なる向上心を持って、さいたま市の教育行政の推進に御助力いただきたいと思います。

結びに各賞を受賞された皆様方のこれまでの御労苦に重ねて敬意と感謝の意を表し、今後の御健康と御多幸を心から祈念申し上げ、式辞といたします。

令和6年1月4日

さいたま市教育委員会教育長

竹居 秀子